

追悼の辞

心友の死を悼む

相談役 菅原啓一郎

石関貞治さんは平成三十年九月十九日逝去されました。享年八十三歳でした。

石関さんは平成元年に横浜歴研に入会されました。横歴では理事・常任理事・顧問・相談役として活躍されました。役員会では常に会の将来を見据え建設的な意見を多く述べられました。

特に年に一度の会員の一泊旅行では、企画・解説・ホテルの手配・バス会社との折衝等全て責任者として引率していただきました。なかでも上州の歴史に造詣が深く、平成十六年「上州空風赤城山麓の旅」では敷島公園・萩原朔太郎記念館 大沼赤城神社 国定忠治墓所等を案内していただきました。

平成二十年「直江兼統誕生の地と上州・武蔵野古戦場を辿る」

では行田市忍城 沼田城 名湖桃城 八海山ロープウェイ展望台等緻密な計画を立てて会員の皆様が満足いただけるような旅行でした。

さらに二代目会長の八城東郷さんの信任が厚く会報の編集等に尽力されました。

石関さんは「わが横歴を語る」の中で「役員の皆さんは会員がこの会に入ってよかった、いい出会いがあった、生きがいを感じられると思える気配りと運営が大切です。いつも会員が何を求めているのかを忘れないで行動してください。」と述べており残った私達への叱咤激励と受け止めております。

弔辞

石関さん オリンピックまでお互いに頑張りましょうと約束してい

たのに先に一人で旅立たれた本当に淋しいかぎりです。

振り返れば六十年もの長いおつきあいでした。会社では私が先輩でしたが、定年後、横浜歴研に入会させていただき、また湯川さんの大正歴史散歩の会、水曜ゴルフの会、囲碁の会等お誘いいただき充実した人生を送れたのは石関さんのおかげだと心から感謝しております。本当に有難うございました。

国内・外の旅行もいつも一緒にしました。中国、韓国、台湾、ギリシャなど楽しかった思い出がいっぱいです。

なかでも初めての海外旅行が平成九年の中国長江下りでした。石関さん、小林さん、坂口さん、私の四人でした。重慶から武漢までの船旅でした中国の雄大で幻想的な景色に興奮し、観光地に上陸し中国古代文化に触れることができました。この旅行でも石関さんの人望と統率力により皆さんが楽しく過ごすことができました。

また石関さん夫妻、高橋さん夫妻、渡会さん夫妻、田邊さん、菅原夫妻が年に数回集まり奥方に感謝をこめて美味しい料理を頂きな

がら懇親を深めたのも素晴らしい思い出です。

長年の闘病生活大変でしたね。これからはゆつくりお休み下さい。

合掌



在りし日の石関さま

